授業科目	＊早期看護実習					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	吉原　悦子、中島　紀江、井手　裕子、隅田　由加里、鹿毛　美香						
授業概要	看護の対象の生活の場とそこで展開される看護活動を知り、看護師と対象者の関わりから発見や気づきを得ることにより、看護への関心を深め、今後の学習を動機づける機会とする。 実習指導は、臨床の実務経験がある複数の教員が担当する。						
授業形態	実習			授業方法	実習		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．看護活動の実際を知り、実習から得られる新鮮な発見や気づきによって、看護を学ぶ上での学習意欲を高める 2．看護の対象者が療養している病院や施設の療養環境を知り、生活を整えることの意味を考える 3．看護師と患者の相互的なコミュニケーションを通して、看護におけるコミュニケーションのあり方について考える 4．看護学生に求められる態度・姿勢とは何かについて考える。
理想的レベル	目標の 1 から 4 を達成し、さらに、看護への関心を深め、主体的な学習に取り組む。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	65%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	15%	
レポート外の提出物	10%	
その他	10%	実習時の姿勢・態度、発言などを総合的に評価します

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	NU11210J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
その日の振り返りと翌日の実習にむけての学習を行う	0

授業計画

第 1 回	別紙、臨地実習要項に基づき、6 月中旬に、臨地実習を行う。 詳細は、実習ガイダンスを行い、臨地実習要項に基づき、説明する。 実習の主な内容は、下記のとおりである。

＊早期看護実習

	1. 学内オリエンテーション 2. 施設のオリエンテーション 3. 臨地実習(病院・高齢者施設など) 4. 実習成果の発表 5. 実習レポートの提出
テキスト	テキストはありませんが、これまで講義で使用しているテキストを参考にしてください。事前オリエンテーションで臨地実習要項を配布します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	図書館で実習に必要だと思う図書を探してください。
課題に対するフィードバックの方法	グループまたは個人に指導を行っていきます
学生へのメッセージ・コメント	感染予防対策と健康管理を徹底してください。実習にふさわしい身だしなみや態度、ルールを守ることなど、心構えをしておいてください。 また、看護の対象の生活の場(病院や施設など)についての知識や療養環境、看護者の活動などについて基礎的知識を学習しておくことが必要です。コミュニケーションについても基礎的知識を学習してください。 看護学科に入学して初めての実習です。貴重な体験から学びを得深めることができるように、真剣に取り組みましょう。